

公共事業事前評価調書(平成24年度予算要望)

所管課:道路街路課 担当班:企画調整班

事業名	伊計平良川線道路改築事業 (宮城島工区)	事業区分	主要地方道 道路改築	事業主体	沖縄県
事業箇所	うるま市 与那城池味~与那城桃原				
事業の諸元	道路改良工 L=4.3km W=11.5m				
事業の概要	伊計平良川線は、うるま市与那城伊計からうるま市平良川に至る延長約23kmの主要地方道である。本事業は、うるま市与那城池味からうるま市与那城桃原間の延長約4.3kmの未整備区間の整備を行うものである。				
事業の必要性・効果等	<p><必要性等> 池味から桃原の当該区間は、宮城島及び伊計島における生活・産業生産物流道路であるとともに、周辺に点在する海水浴場等の観光地を結ぶ基幹道路である。 当該区間が未整備となっており、また島の東側を通る農道では、近年斜面崩壊等の災害が起き、度々片側通行が発生している状況であり、早急な整備が求められている。</p> <p><効果等> 円滑な交通の確保、歩行者・自転車の安全確保、観光施設へのアクセス向上、安全な生活基盤・環境の確保</p>				
事業期間	事業採択	平成24年度	完了(予定)	平成30年度	
全体事業費	21億円	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
費用対効果	B/C = 1.8	総便益:B	34.07 億円	総費用:C	18.68 億円
		走行時間短縮便益	34.66 億円	改築費	16.86 億円
		走行経費減少便益	0.60 億円	維持修繕費	1.82 億円
		交通事故減少便益	-1.19 億円		平成22年度
事業着手の熟度・上位計画との整合性	沖縄県広域道路整備基本計画に位置づけられている。				
環境への配慮	植栽を歩道に配置することにより緑陰を形成し、快適な歩行空間の確保と周辺環境への影響の緩和に努める。				
関係する地方公共団体等の意見	観光交通等の円滑な通行や、安全な生活環境の確保のため、うるま市より早期の道路整備の要請がある。(H21・H22行政連絡会議、H21行政懇談会)				
概要図(位置図)					